

一般質問

主な質問と答弁

高齢者の外出支援

元気にいきいきと暮らせる環境整備

ICT導入による新たな施策を



神尾 里江
民主 無所属

質問 これからの外出支援策については、時代や社会状況に応じた取組の推進と環境整備を行うことが必要と考える。ICT導入による新たな高齢者外出支援に向けた施策等も検討していくべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

答弁 様々な場で活動していた高齢者が、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出することなく在宅で過ごす時間が長くなり、運動や日常生活の活動量の変化を計測するものである。また、外出支援はもとより、コロナ禍にあつては、在宅における介護予防・フレイル対策・認知症対策を充実させるために、ICTの導入は必要不可欠だと考えている。



環境整備を行い、産後ケア事業の利用促進に努める

例や実証実験の結果を踏まえ、効果的な高齢者の外出支援について検討する。

公園遊具の安全周知

点検済みシール貼付を



栗原 貴司
市民クラブ 藤沢

質問 公園に関して、市民の関心が非常に高いと思っている。市のホームページには、遊具点検の状況が毎月掲載されているが、どのような方法で点検を行っているのか、不具合のあった遊具についてはどのような対応をしているのか聞きたい。近隣市では、遊具点検を行った際、点検済みシールを貼っている。お子さんなど公園利用者が見て、すぐに点検されていることが分かるようにすべきと考えるが、今後の点検結果の周知方法について、市の考え



安心して公園利用できるよう、点検結果を周知する

答弁 遊具の点検については、毎月全ての公園をパトロール業務により巡回し、遊具の外観の目視や触診、可動部を動かして異音を聴診するなど、作動状況等の日常点検を実施している。

質問 点検結果の周知については、市民が安全に、安心して公園を利用できるように、大変重要なことと認識している。今後の周知方法について、異音等を確認すること

答弁 これと併せ、専門業者へ委託し、目視や触診、聴診のほか、ハンマー等で打診し、異音等を確認すること

いては、引き続き、ホームページへの掲載と併せ、誰もが利用時にすぐ分かる取組として、点検した遊具への点検済みシールの設置を検討していく。

小中学校の教職員

定数改善と予算増を



竹村 雅夫
民主 無所属

質問 小中学校において教員の欠員や未配置という問題が生じ、子どもたちに深刻な影響が出てきている。市として、県や国に対し教員不足問題が存在することを認識するよう訴え、教職員定数の改善と教育予算の増額を求めるべきと考えるが、市の見解を聞きたい。またこの問題に対して教育委員会としてどのように取り組んでいくか聞きたい。

答弁 本市は、独自で新入

生サポート講師や市費講師を配置して教育環境の向上に努めているが、義務教育の教職員定数の改善、予算の確保は本来国の責任において対応すべき課題である。教員不足問題は、これも国の関係各省庁へ要望を行うとともに、県知事、県教育委員会に対し現場の窮状を訴え、要望を行っている。今後は現場の危機感がより伝わる要望書を作成し、強力に要望活動を行う。教育委員会では、学校及び教師が担うべき業務を精選し、他部局や関係機関等との連携を図ることを含め、行革の視点を持った取組による働き方改革を推進する。教員不足という教育課題を解決するため、藤沢市の学校が魅力あるものとなり、教員として子どもたちのために働きたいと希望する人が増えるよう、教育環境の充実を努める。

意見書

1件を神奈川県へ提出

養親希望者手数料負担軽減事業の導入を求める意見書

親希望者手数料負担軽減事業を実施していないが、神奈川県人口ビジョンにおける合計特殊出生率の向上に向けた取組を推進するためには、事情があつて育てられない子を引き取り、戸籍上も我が子として養育する養親を支援する養親希望者手数料負担軽減事業を導入するべきと考える。

民法817条の2以降で定める特別養子縁組制度については、厚生労働省は社会的養育の充実を図るため、養親希望者手数料負担軽減事業を含む養子縁組民間あっせん機関助成事業予算を拡充し、都道府県等に対し、民間あっせん機関の有無に問わず、養親希望者手数料負担軽減事業について、積極的な実施を依頼している。

また、全ての教職員が心身共に健康な状態で子どもたちと向き合い、充実感を持って仕事に打ち込めるよう、引き続き、教職員の働き方改革に取り組む。

神奈川県は、現状、養

ハイリスク・多胎児家庭

産後ケア支援

育児負担軽減のため利用料低減を



東木 久代
市明 藤沢

質問 8年前に取り上げた産後ケア事業が昨年始められた。事業における本市の

答弁 昨年度1か所から今年度は8か所に施設を拡充した。安心して育児を行うためには、出産後もない母親の心身の負担を早期に解消し、健康を守る必要があり、家庭内での支援が受けられず孤立しがちな方々への支援は不可欠と考える。そのため、保健師等による訪問事業や、子育て支援センターでの相談事業、日

質問 一人一人に必要な支援を提供し、安心して子育てができるサポートについて考えを聞きたい。

答弁 今後予定しているアウトリーチ型サービスや、利用施設の拡充などの環境整備、充実を一層図る。出産医療機関など個別支援を行う施設との連携を強化し、切れ目ない支援を受けられる環境づくりを進めていく。

西北部のまちづくり

進化した総合整備を



佐野 洋
ふじさわ 湘風会

質問 西北部地域の整備について、面的な整備、多機能横断的な検討が求められる。また、治水対策も地区を俯瞰し、面的に捉えていく必要がある。

答弁 機能面、防災面、空間、時間を意識し、一歩進化した総合整備の取組を進めるべきと思うが、市の見解と

答弁 西北部地域のまちづくりは、区域を一つの面として捉え、その中で多くの

長後地区の移動支援

地元の声聞き改善を



桜井 直人
市民クラブ 藤沢

質問 高齢化が進む長後地区で要望が多いのは、交通不便地域での移動支援の拡充である。乗合タクシーの

答弁 長後地区では交通空白地の解消を図るため、地元組織が運行主体となる乗合タクシーの導入を検討し、市では地元組織と連携して

その結果、1日当たりの平均利用者数は、ルート変更前の約13人から約23人へと増加傾向にあるものの、運行ルート等を変更してからの実証期間が短く、本格運行移行への判断が難しいため、実証運行を5年3月まで延長することで地元組織と調整を進めている。

質問 機能面では、これまで整備した都市基盤や自然環境等の資源を生かしながら、魅力と活力が維持向上する新たな基盤整備と土地利用を促進する。これにより、地域全体が多様な機能を発揮する期待できる。

答弁 西北部は豊かな自然と発展の可能性を持つ、大変貴重な地域であり、地域の将来像である農・工・住が共存する環境共生都市の実現に向け、全力で取り組む。

実証実験が行われることは評価しているが、地域からの声はより良い改善を求めるものも少なくないと感じる。